



「おばあちゃん、元気になってネ」と北野さん。

★「ホームヘルパー」のサービスとは？

- ① 身体の介護に関すること
食事の介護、排泄の介護、衣類着脱の介護、入浴の介護、身体の清拭・洗髪、通院などの介助、その他。
- ② 家事に関すること
調理、衣類の洗濯・補修、住居などの掃除・整理整頓、生活必需品の買物、関係機関などとの連絡、その他。
- ③ 相談、助言に関すること
生活・身・上・介護に関する相談・助言、その他。

★「ホームヘルパー派遣」の条件は？

ホームヘルパーの派遣対象世帯は、老衰・心身の障害・傷病などの理由により、日常生活を営むのに支障があるおおむね65歳以上の方がいる家庭で、老人またはその家族が老人の介護サービスを必要とする場合です。費用については、所得税の非課税以下の世帯は無料ですが、課税世帯については、所得に応じて負担していただくことになります。

★他にどんな在宅福祉サービスがあるの？

高齢者の方々が家庭の中でできるだけ安心して暮らせるように、中心となる4つの在宅福祉サービスがあります。①各家庭で介護や家事の手伝いをする「ホームヘルパーの派遣」。②虚弱な高齢者を対象に、健康チェックや機能訓練、入浴・給食サービスを提供する「デイサービス」。③家族の都合で家庭での介護が一時的に困難になった場合に老人ホームでお預かりする「ショートステイ」。④ねたきりやひとり暮らしの高齢者の方にギャッチベッドや車いす、腰掛け便座などを給付または貸与する「日常生活用具給付等事業」などがあります。

★「在宅福祉サービス」のお問い合わせは？

各市町村老人福祉担当課
又は市町村社会福祉協議会まで

家族だけで全てを背負わないで
北野 美智子さん
一番感動したのは、ヘルパーさんたちが生き甲斐をもって活き活き働いていらつしたことです。「皆さんが首を長くして待っていてくださってる

ぼんの望みは我が家でのだんらん」と緒方施設長は声高におっしゃいます。だからこそ、今、在宅介護の充実が大切です。ヘルパーさんたちの力はこれからますます欠かせないものになっていくことでしょう。

行政のサービスをうまく利用することが大切
正木 信子さん
充実した施設、ヘルパーさんたちの明るさ。この二つが非常に印象的でした。八年間寝たきりの男に接してきた経験から、お年寄りには話しかけが必須だということは痛感していましたが、



介護経験のある正木さんは、手つきも慣れたもの。

それも家族だけでは限界があります。地域の中で昔ながらの助け合いが無くなってきつつある今、これからは公的なサービスを上手に利用していくことが大切だと思います。明るくて元気なヘルパーさんに来てもらったら、お年寄りも元気になりますよ。



「おじいちゃん、昼ごはんはおいしかったね?」「ウン、ウン」

● 充実した設備、明るい空間
相良村ご自慢の新築「相良みどり」を戴きながら、緒方施設長から特別養護老人ホーム川辺川園の概要と在宅福祉サービスの説明を受けた後、施設の中を見学。オムツの必要な方がたくさんいらつしやるのに排泄物の臭いが全くしません。いたるところに安らぎを感じられるよう気配りがいきとどいて

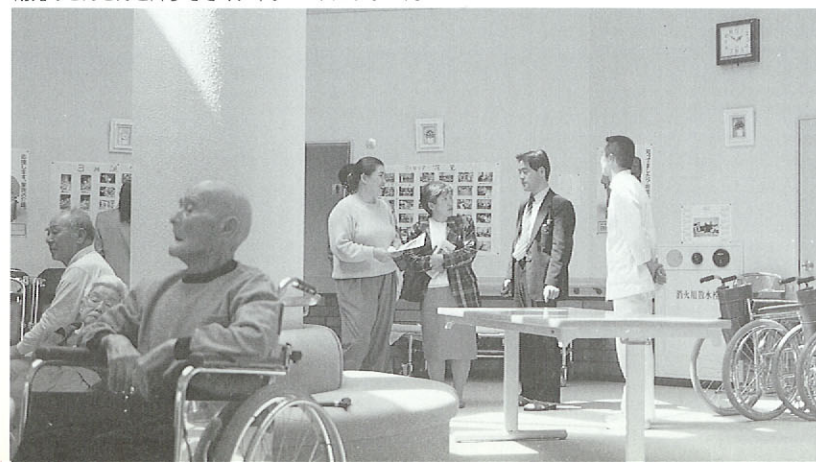
● おばあちゃんが明るくなった
さて、いよいよホームヘルパーさんと同行して在宅介護の体験です。訪問先、釘島さんのおばあちゃんは、村から貸し出されたギャッチベッドでテレビ相手に寝ていらつしやいました。週に二回通うヘルパーさんの仕事は、洗面介護、食事介護、身体の清拭など。

● 在宅介護を支えるホームヘルパー
球磨郡の農村地帯でも、昼間は家族が働きに出ていて独りぼっちのお年寄りが多いとのこと。「お年寄りのいち

います。例えば、各部屋の障子。「我が家みたい」と思わず叫んでしまいました。併設されているデイサービスセンターは、相良村、五木村、山江村、錦町からお年寄りが集まります。ここでの楽しみは入浴ばかりでなく友達作りもあるようです。吹き抜け・ガラス張りの天井からさんさんと降りそそぐ陽光。底抜けに明るい空間で、お年寄りたちは思い思いの時間を過ごしていました。

でも待っているおばあちゃんの一番の楽しみは、お喋り相手としてのヘルパーさん。「ヘルパーさんが来てくれたから、おばあちゃんが明るくなりました」と、一人でお年寄りの面倒を見る娘さん。「私も気持ちよく体験したお手伝いは、身体を起こしたりタオルを取ってあげたりでしたが、明るく元気のよいヘルパーさんのリードで、おばあちゃんとお喋りも止まりません。話しぶりはたどたどしくても、笑顔が耐えないおばあちゃんでした。」
⑧ギャッチベッド
背もたれの角度を調整できるベッド

陽光のさんさんと降りそそぐデイサービスセンター内



ホームヘルパーさんが来てから、

おばあちゃんが明るくなった!!

今年度も六名のママさん特派員が決まりました。この一年は、「もっと福祉」というテーマで、県の福祉行政を「見て・聞いて・体験して」いただきます。まず、最初は北野美智子さん（熊本市秋津）と正木信子さん（玉名市繁根木）のお二人。球磨郡相良村の特別養護老人ホーム川辺川園を訪れ、在宅介護のホームヘルパーに同行してもらいました。